

令和4年度福島県内の公立小学校における

農作業体験学習実態調査結果

令和5年2月15日
福島県農村振興課

1 調査主旨

県内公立小学校において「田んぼ」や「畑」を活用し、農作業体験を通して農業・環境を学ぶ授業（以下、農作業体験学習）の実施状況を把握する。

2 調査概要

- (1) 調査期間 令和4年11月28日～令和5年1月31日
- (2) 対象校数 392校（令和4年4月1日現在）
- (3) 回答校数 348校 回答率89%（R3 339校 回答率：83%）

※特に表記のない場合、単位は「校」とする。

3 調査結果

<農作業体験学習実施状況>

問1 今年度農作業体験学習を行っていますか。

表1 農作業体験学習の実施状況

※回答数348校

| | 地方別 | | | | | | | 県全体 | 参考 (R3) |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | | |
| はい | 72 | 76 | 28 | 52 | 11 | 30 | 43 | 312 | 296 |
| いいえ | 8 | 12 | 1 | 3 | 2 | 2 | 8 | 36 | 43 |
| 実施率 | 90% | 86% | 97% | 95% | 85% | 94% | 84% | 90% | 87% |

回答のあった公立小学校348校のうち、約9割が農作業体験学習を実施している。

<農作業体験学習実施内容>

問2 農作業体験学習をどのように実施していますか。

※実施校 312 校（複数回答）

表2 農作業体験学習の実施内容（まとめ）

| 農作業体験学習取組校数の内訳 | 農地利用 | 農地不利用 | (参考) R2 | |
|----------------------|------------------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 水稲 | 田んぼ 122 | バケツ・ プランター 129 | 田んぼ 114 | バケツ・ プランター 133 |
| 野菜等 | 畑 230 | | 畑 213 | |
| 田や畑を利用した農作業体験学習の取組校数 | 252 (※重複 100) | | 272 (※重複 55) | |

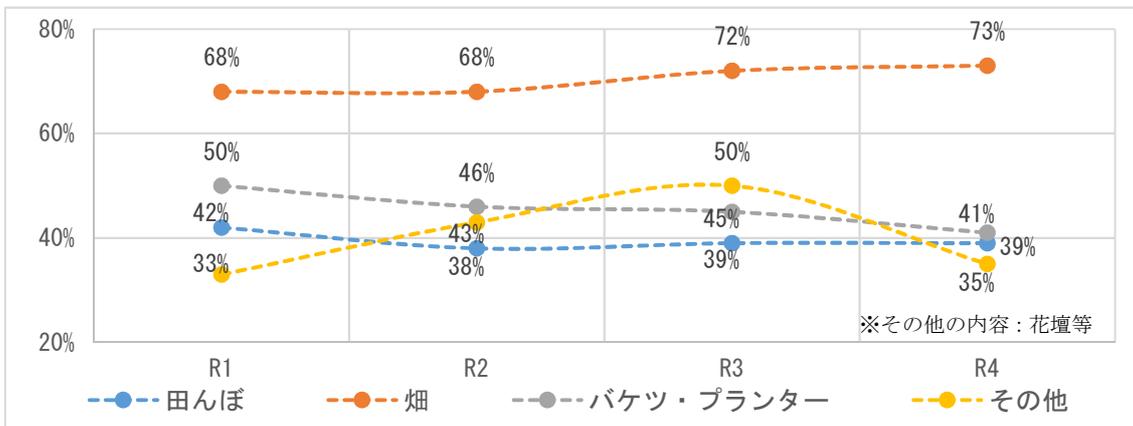


図1 農作業体験学習の内容別実施率の推移

農作業体験学習は、田んぼを利用したものが約4割、畑を利用したものが約7割、バケツ・プランターを利用したものが約4割、特に畑を活用した農作業体験学習が広く実施されている。

<農作業体験学習の具体的な取組内容>

問3 具体的にどのような作業をしていますか。

※実施校 312 校（複数回答）

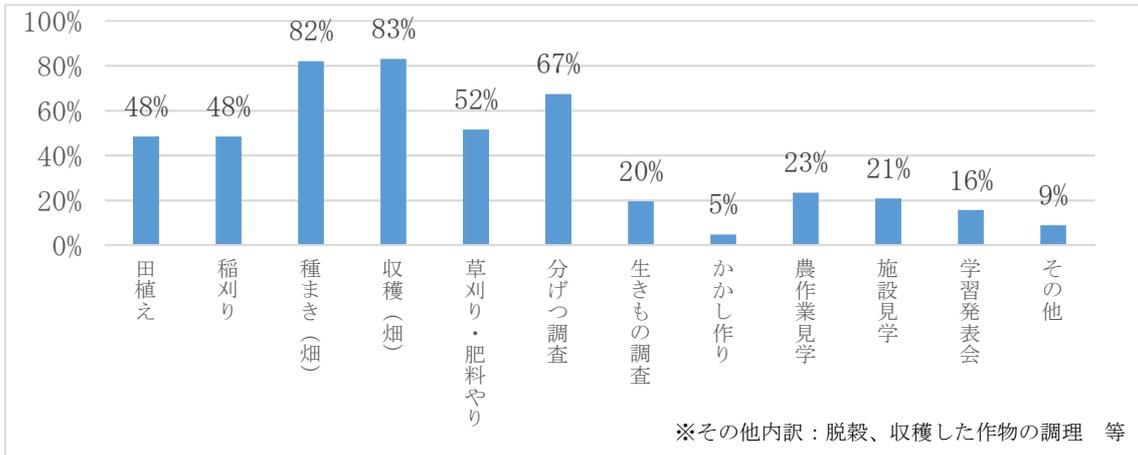


図2 農作業体験学習の具体的な取り組み内容

農作業体験学習の具体的な活動内容としては畑での収穫、種まき・苗植え、生育調査が多く、次いで、草刈り・肥料やり、田植え、稲刈りが多くなっている。

また、生きもの調査や施設見学、学習発表会など、多様な取組が実施されている。

<農作業体験学習における協力者>

問4 農作業体験学習を行う際、どのような方に協力してもらっていますか。

※実施校 312 校（複数回答）

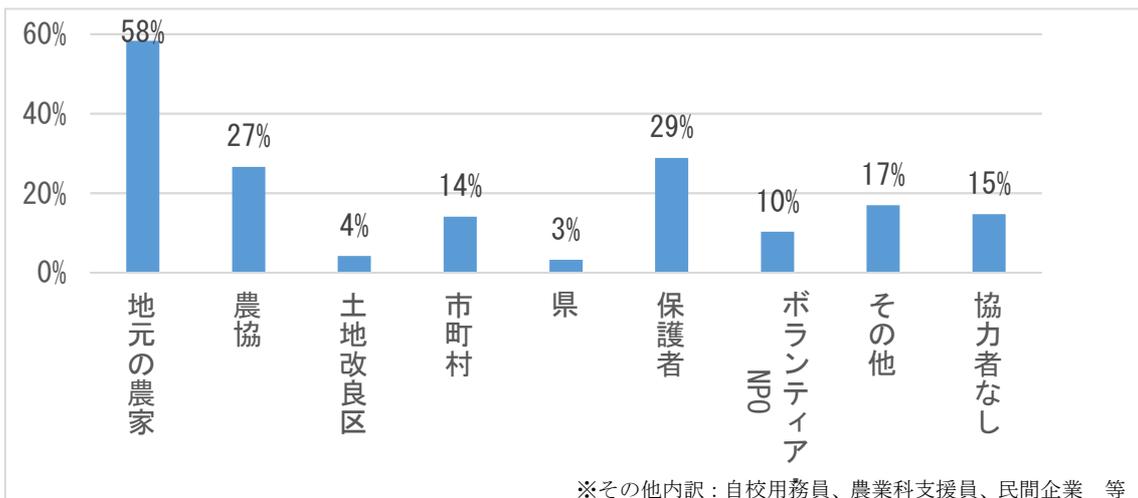


図3 農作業体験学習における協力者

農作業体験学習の実施にあたっては、地元の農家や農協など、農業についての知識や技能を有する方々や、保護者の協力が多くなっている。

<農作業体験学習の継続意向>

問5 今後も農作業体験学習を継続していきたいと思いませんか。

※実施校 312 校

表3 農作業体験学習の継続意向

| | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 県全体 |
|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|
| はい | 72 | 76 | 28 | 52 | 10 | 30 | 42 | 310 |
| いいえ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 未回答 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

農作業体験学習を実施している学校のうち、約9割の学校で今後も継続したいとの回答が得られた。

4 まとめ

農作業体験学習は、回答された公立小学校の90%で実施されており、そのうち田んぼや畑を利用した活動は、72%（348校中252校）で実施されている。一方で、農作業体験学習に適した農地や、地域の協力者の確保が困難であることを理由に、農作業体験学習に取り組むことができない学校は10%（348校中36校）である。

また、福島県に対して、農作業体験学習に関する支援要望がある学校が17%（348校中61校）あり、要望の内訳としては農作業体験学習への支援要望が44校、生きもの調査への支援要望が25校であった。現在、県では「ふくしまの農育」推進事業を実施しており、県内小学校における農作業体験学習及び生きもの調査の実施に係る支援や、若い世代を対象とした土地改良施設等の現場研修会の開催を行っているが、調査結果を参考としながら事業内容の充実を図っていくこととしたい。